

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連 (四国)	良くなる	スーパー（店長）	・昨年8月は天候不順で売上面で大きく影響した。今年はそれがないだけでも景気を押し上げる要素になる。 ・お中元のシーズンに入り、少し売上が上昇するだろう。		
		その他専門店〔酒〕 （経営者）			
		設計事務所（所長）	・築30年以上の事業用建物の建て替えの話がいくつも出てきている。		
やや良くなる		商店街（事務局長）	・プレミアム付商品券による消費喚起に期待をしているが、商店街のみで使える商品券の申込状況が芳しくないと聞いている。商店街にとっては大きな売上増には寄与しないとの心配がある。		
		百貨店（営業推進）	・プレミアム付商品券による景気回復の可能性はある。		
		スーパー（財務担当）	・地方にも賃金増の影響が期待される。		
		コンビニ（店長）	・主食系が動いている。特に弁当のアップー価格帯も売れている。プラス1品のファーストフードの動きもよい。プレミアム付商品券を申込した人が払込に来るが、かなりの件数である。消費に回せる余力が出てきたのではないかと。		
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦にあわせて新製品発売等に期待している。		
		乗用車販売店（役員）	・5月の新車の伸びはあまり見受けられなかったが、7月以降は新車投入もあり、良くなっていくのではないかと期待している。		
		住関連専門店（経営者）	・株高で投資家はかなりの利益が出ているのではないかと。4月の春闘で、多少なりとも給料が上がっているため、今後少しずつ景気は良くなるのではないかと。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・昨年7～8月は天候不順等で夏物の売上が不振だったため、今年はその反動で良くなると期待している。		
		旅行代理店（支店長）	・夏休み期間の申込状況は、国内は引き続き堅調に推移している。海外についても近場方面を中心にやや回復の兆しがみえてきた。		
		タクシー運転手	・梅雨が明け、夏休み等で人の動き等も良くなると期待している。		
		通信会社（営業担当）	・夏商戦期の買換え需要に期待。		
		通信会社（支店長）	・円安も落ち着いてきており、急激な円安の可能性は低くなってきていることやボーナス商戦が本格化することから、やや良くなるとみている。		
		変わらない		商店街（代表者）	・地方の状況は何も変わらない。大都市集中を是正できる方策は当面見当たらない。
				商店街（代表者）	・プレミアム付商品券の発行の効果から、消費マインドは上昇し、景気も上向きを維持すると期待している。
				一般小売店〔文具店〕 （経営者）	・梅雨入りし、客は減り、購買量も最小限に抑えられている印象がある。
				一般小売店〔生花〕 （経営者）	・繁華街の人は、年々少なくなっている。イベントがあれば渋滞ができるほどのにぎわいになるが、平均するとあまり変わりはない。
				スーパー（企画担当）	・客数は変わらないが、夏賞与の支給状況で購入単価が上昇する可能性はまだある。
コンビニ（店長）	・売上増につながる外的要因に乏しく、流通業界は他店との競争激化で苦戦が続く。				
コンビニ（総務）	・今夏の天候や気温次第で、売上は大きく左右される。				
衣料品専門店（総務担当）	・来店客数は減少が続いている。改善できることは何もなく、客からも所得が増えて景気が良いというような声はほとんどない。節約傾向が続いているため、しばらくは現状が続くのではないかと。				
乗用車販売店（従業員）	・収入が増加する人とそうでない人の差が大きくなり、全体の消費金額は変わらない。				
乗用車販売店（従業員）	・個人消費の回復がいつになるか予想がつかない。このまま販売不振が続くと例年並みの売上と利益を達成するのはかなり難しい。				
乗用車販売店（従業員）	・夏季賞与の時期であるが、客の動きが良くなっている実感はない。				
乗用車販売店（営業担当）	・6月頃には景気が回復すると思っていたが、9月頃までかかるかもしれない。				
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・賃金上昇の様子もなく、良くなる要素が見当たらない。				
観光型旅館（経営者）	・予約状況は前年と比較してあまり良くなっておらず、先行きに期待できない。				

		都市型ホテル（経営者）	・宿泊の予約状況は今までと変わらない。レストラン部門では動きがあるので期待したいが、大きくは変わらないだろう。
		通信会社（企画）	・引き合いが増える要因が見当たらない。
		観光遊園地（職員）	・円安の影響もあって観光客数は順調だが、株価に安定感がなくなっている感がある。
		ゴルフ場（従業員）	・予約数は伸びていない。競合先では単価を下げた営業をしており、そちらのほうに流れつつある。
		競艇場（職員）	・8月は女子の大きなレースが開催されるので売上が期待できる。ただ、本場開催日数が少なく、月間の売上は大きくはないだろう。
		美容室（経営者）	・来店周期の長期化など節約志向が継続的に見受けられる。
		美容室（経営者）	・特に状況は変わらない。
	やや悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・景気が良くなるイメージが全く湧かない。
		百貨店（営業担当）	・来客数が減っている。
		百貨店（販売促進担当）	・大手アパレルのリストラ報道に代表されるように、百貨店の主軸である婦人服はますます厳しい状況になっている。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年4月の消費税増税以降、売上が下落している。来客数もかなり少なくなり、客単価とともに低迷している。
		衣料品専門店（経営者）	・円安の影響で原材料価格が上昇しており、それが販売価格の上昇につながっている。それで購買に影響が出てきている。
		通信会社（営業担当）	・季節的に販売量がやや低下する。
	悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方の景気が良くなる要因がない。財布のひもは固く、消費者に購買意欲が無く、物が売れない時期が続くだろう。
		タクシー運転手	・夏の間、9月末頃まで遍路の仕事がないから、売上はかなり落ちる。街を流しても乗客は少ないだろう。
企業動向関連	良くなる		
(四国)	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・現在の状況がしばらく続きそうである。
		木材木製品製造業	・現在の受注状況からみて、生産量は増える。素材価格の変動による収益性の変化に注視していきたい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後も化粧品関係は一定の売上を確保できるとみるので、全体的に伸びていくと期待している。
		電気機械器具製造業（経理）	・受注量の若干の増加を予想している。ただ、新製品投入や市場の活性化等のトピック的な要因はなく、増加幅も数%程度のわずかなものであるため、楽観してはいない。
		輸送業（経営者）	・良い所と悪い所との差が出ている。
		広告代理店（経営者）	・プレミアム付商品券を見込んだ販売促進広告が多少増加する。
		公認会計士	・以前に比べて設備投資に前向きな企業が増えてきている。特に松山道後地区においては、外国人観光客が前年比4割以上伸びていることから、ホテル等の事業者は、設備投資を前向きに考えているようだ。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	・作柄は悪くなく今後の市場入荷は平年並みが予想される。今月下旬には量販店の売出しが期待される。
		食料品製造業（経営者）	・円安が進み、原材料価格が高騰して利益が圧迫されると推測している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外需要全体では若干減少を見込むが、国内は堅調を維持するだろう。
		電気機械器具製造業（経営者）	・再生エネルギー部門の大型太陽光設備の受注は安定的に推移している。バイオマス発電も堅調である。
		建設会社（経理担当）	・新年度に入ってから受注は管繕工事のみであり、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・公共事業の発注具合によるところが大きい民間建設業者は見通しが暗い。
		輸送業（営業）	・夏季は冬季よりも季節商材の動向が取扱物量を大きく左右するので、例年並みの売上が望めるかどうかは天候次第である。
		通信業（部長）	・好調な取引先とそうでない先とが明確化している感がある。
		金融業（副支店長）	・円安・株高で景気が良くなっていると言われるが、さほど景気が良くなっているとは感じられない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・このまま事業発注が遅延すると大きな影響が出る恐れがある。地方の業者は、地元業者間だけでなく、大手との競争も激しくなっており、事業量の減少とともに地方業者が受注しにくくい札契約制度になってきていることも先行き悪化とみる理由の一つである。
		輸送業（支店長）	・地方の景気回復には時間がかかる。
	悪くなる	-	-
雇用	良くなる	-	-

関連 (四国)	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・ 人事異動、夏季賞与など労働者の環境や家計に動きが生じる時期に入るので、景気も少し好転するのではないか。各地で開催される夏の催事、行事に期待したい。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・ 異動時期を控え求人数の増加が見込まれる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・ 株高による企業の勢いは変わらないが、家計が恩恵を受けるにはもう少し時間を要するのではないか。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ ガソリン価格が少しずつ上昇しており、家計圧迫の心理が購買意欲をそいだまま続くのではないか。
		職業安定所	・ 月間有効求人倍率は、前月比0.02ポイント低下。ただ、前年同月比では0.06ポイント増加した。総じて一服感がある。
		職業安定所（職員）	・ 大きく変動する要因は見当たらない。賃金上昇は見込みめないが、求人倍率は好調を維持すると見込んでいる。
		職業安定所（職員）	・ 管内の新規求人数は、2か月連続で全産業的に減少している。
	民間職業紹介機関（所長）	・ 地域性もあると思われるが、際立って業績が好調で設備投資、採用人数を増やそうという企業は少ない。	
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ 労働者派遣法の改正で各企業が派遣の採用を控えつつある。今後法案の行方を注視したい。	
悪くなる	-	-	